



エコハウス研究会季刊紙

そらどま

2023年
冬号

第16号

2023 . W I N T E R v o l . 1 6

CONTENT

バカにできない換気力
丸谷博男（代表理事）

表紙

大石智

浜通り庭の宿・帆や（静岡県焼津市）

能登半島地震から復興へ「一粒の米となって」

2024年1月1日、それは新年を迎えるめでたい日であり、家族団欒の場であった。年明けの挨拶とお節料理、そして祝い酒。一段落して初詣に出た家族も多かったと思います。夕方4時10分、マグニチュード7.6、震度7の大地震が石川県和島付近を震源として人々を襲いました。これから今日1月17日午前3時までに、地震観測回数は、石川県能登地方で527回、能登半島沖では236回、佐渡付近で52回、新潟県上中越沖で25回を記録し、今回の最大の原因となったのは複数の断層が連動してずれたとの見解があり、2000年、4000年、6000年に一度という地震とも言われている。

能登半島では集落と集落とを繋いでいる道路の多くが崩壊し、孤立した多くの集落が発生した。またそのことは緊急支援の手が届かない現状ともなっている。さらに、輪島では4mを超える隆起が観測され、港湾設備も使用できない状況となり、陸からの支援も海からの支援も、さらに空からの支援も困難な状況となっている。

地震被害の状況も、液状化は新潟から富山県、石川県で見られ、隆起は、沈降は、そして津波においては警報前にすでに到達した地域では、地震発生2、3分後のことだった。珠洲市では潮上高は3m、沿岸建物は2.5m以上浸水した。日本海という狭い海域での反射波による現象も観測された。富山湾内では多重反射が観測され、能登半島の南岸へも干渉による津波の回り込みもあった。

これ以上、情報を拾い集めても、キリが無い。これからの1ヶ月間での調査にその整理を待つしかない。我々建築人としては、改めて「地盤の重要性」、「度重なる地震での耐震劣化」、緊急対応を考えた建築とまちづくり、復興への仮設住宅・施設の提供と運営、一次～二次非難場所の対応、そして復興への指針作り、建設などこれからの課題も急ぐと共に、しっかりと議論を積み重ねていかなければならない。震災対応を継続してきた新建築家技術者集団が運営する復興支援会議では、私が能登半島地震対策本部長として今後対応する方向で進みつつある。一般社団法人エコハウス研究会でもこれと連動して復興活動を進めていこうと考え、会員のご協力を期待している。また、私の父方のルーツが旧石川県羽咋郡志雄町子浦（柳田姓にルーツ）であり、長男は金沢で、弟は高岡・氷見で生業をたて生活しているので、皆、被害は幸い無かったが、復興への道を地域の方々と共に進んで行く。以上、丸谷博男からのメッセージである。

◆ご報告

2023年11月9日～10日
浜通り庭の宿・帆やにて幹事会を開催しました。

2023年11月29日
東京日比谷にて遮熱講座を開催しました。

2023年11月30日
東京日比谷にて第10回全国大会を開催しました。

◆お知らせ

東京里山環境建築学校（全12回）を開催します。

2024年2月10日
拡大幹事会を開催します。
今回の拡大幹事会は、正会員は全員参加できます。





soradomaの家 vers.2024新春

by 一般社団法人エコハウス研究会

国産材はまのよは
だはに使う家づくり
遊樂な家具器具
まで

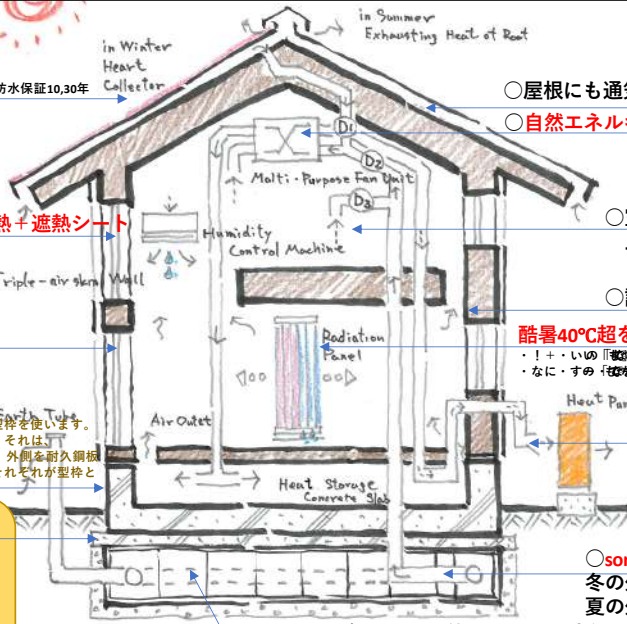
- 屋上緑化「スカイプロムナード」 防水保証10,30年
- 光ダクト+エアプロット 密集地・採光の悪い環境を克服！

- 酷暑撃退！ soradoma三重空気層断熱+遮熱シート
- プラチナ光触媒窓「エアプロット」 高防エ悪口環音エー外エ設ダラ法克 再三 ラ30%

- ペアガラス Lo-E option

- soradoma無型枠一体成形基礎工法 一般の工法はコンクリートを打つ時に合板か鋼製の型枠を使います。そして、コンクリートが固まったら、取り外します。それは、手間と費用が余計な負担となります。soradomaでは、外側を耐久鋼板でコンクリートを保護し、内側は断熱材で断熱し、それぞれが型枠となります。

- soradomaスーパージオ®工法
 - ・地盤保証 max 3億円
 - ・免震保証 max 1億円
 - ・液状化保証 max 1億円 (10年更新、最長30年)



- 屋根にも通気層・透湿防水シートで高耐久
- 自然エネルギー活用soradoma換気システム

- 室内空気循環で爽やか環境 上下温度差3℃以下

- 調湿・調音内装材・調湿断熱材

酷暑40℃超を克服！
・！+・いの「~~窓~~で・~~外~~がつかた〇」ったー
・なに・すの「~~窓~~で・~~外~~がつかた〇」ったー

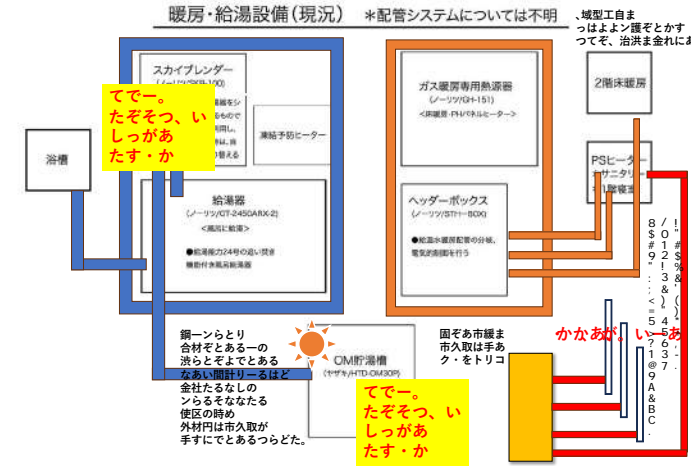
- もったいない！精神 室内排気再利用で省エネ

- soradomaアースチューブで省エネ 冬の外気5~10℃ → 12~13℃ 夏の外気25~35℃ → 20℃

○スーパージオ®工法で使用する雨水貯留浸透設備 都市型洪水を緩和する設備のため、地域によっては地方自治体の補助金制度があります 青梅市max20万円、大田区・墨田区max30万円、渋谷区・杉並区max40万円など

◆全熱交換換気扇に取り替え、制御も含めてsoradoma換気システムに更新しました。

築20年のOMソーラーの家、東京都世田谷区狛江町、男子2名はそれぞれ独立して現在は夫婦2名の家族構成。老後の暮らしの再構成を図っていらっしゃるご主人は写真家でメカに対しても大変興味をお持ちで、私がOMからsoradomaへ進化していることをよく理解し、また期待して、今回の改修工事を取り組みました。木製建具の修理、バルコニーの改修、屋根の更新あるいは塗装、外壁の更新などの検討も同時にされていました。



てでー。 たぞそつ、いしっがあたす・か

銅一筋らとり 合材とある一の 泳らとそよとある なるい銅筋らとりはほど 金社たるなしの ならるそなたる 使区の時め 外材円は市久取が 手すにとあるつらとた。

てでー。 たぞそつ、いしっがあたす・か

かかあが

エコハウス研究会 専務理事
そらどま
とどなつ専務理事 一夫、専務理事 一と

エコハウス研究会 代表理事 丸谷 博男 (株式会社エーアンドエー・セントラル代表取締役)
理事 若原 一貴 (日本大学芸術学部教授)
理事 (事務局) 磯貝 左千夫 (株式会社ジェイボックス代表取締役)



とどな し とは す、とどにと とど